

家庭内事故を防ぐ

家庭内には、危険がいっぱい？では、どこがどのように危険なのか、どうすれば事故を防ぐことができるのでしょうか。

今回は、健康医療情報講演会「家電製品を安全に使うために」に合わせて、家電製品の事故、家庭内の事故防止のための資料及び応急手当の資料をそろえてみました。



○家電製品について

書名	出版社	発行年月	請求記号
失敗百選 ～41の原因から未来の失敗を予測する	森北出版	2005年10月	504/㊦
続失敗百選 ～リコールと事故を防ぐ60のポイント	森北出版	2010年12月	504/㊦
知っておくべき家電製品事故50選 事故を知るとリスクが見えてくる	日刊工業新聞社	2010年11月	545.88/㊦
家電が一番わかる 生活家電から情報家電、さらには美容家電まで身近な家電製品を通して先端の技術を探る	技術評論社	2013年12月	545.88/㊦
月刊国民生活 No.1 繰り返すな！製品事故の悲劇	国民生活センター	2008年5月	Z36/7
月刊国民生活 No.15 製品事故発生！…そのとき何をすべきか	国民生活センター	2009年7月	Z36/7

○家庭内事故予防について

書名	出版社	発行年月	請求記号
家庭内における子どもの事故防止のためのチェックリスト	(財)日本児童福祉協会	2005年7月	498.7/㊦
新 子どもの事故防止マニュアル 改訂第4版	診断と治療社	2007年10月	498.7/㊦
子育て世代の安心・安全住宅 データで納得	彰国社	2012年1月	527/㊦
やさしさの住居学	情報センター出版局	2007年5月	527/㊦
耐震・防火・防犯・省エネを考えた家パーフェクトガイド	成美堂出版	2011年11月	527/㊦
バリアフリーデザイン・ガイドブック 2013-2014	三和書籍	2012年11月	527.1/㊦
国民生活研究 第49巻2号 事故による子供の傷害予防に取り組む	国民生活センター	2009年9月	Z36/58
公衆衛生 第75巻8号 高齢者の事故	医学書院	2011年8月	Z49/9
建築ジャーナル 第1173号 できてますか？家庭内事故対策	建築ジャーナル	2010年11月	Z52/44

○応急手当について

書名	出版社	発行年月	請求記号
覚えておこう応急手当 小さなけがの手当から命を救うAEDまで	少年写真新聞社	2008年10月	492.29/カト
職場・学校・家庭・地域での応急手当マニュアル 小さなケガから救命救急処置まで 改訂版	ふくろう出版	2014年4月	492.29/コウ
入門 救急処置法 改訂3版	金芳堂	2010年3月	492.29/マエ
根拠と事故防止から見た 老年看護技術	医学書院	2012年8月	492.93/カメ
危険から身を守る本 日常生活編	創元社	2010年11月	598.5/ヤマ
知っておきたい 子どもの安全と応急処置 (一般市民対象) DVD	ビデオ・パック・ニッポン	2009年	498/シ

○国民生活センター リーフレット

消費者用 製品事故から身を守るために〈身・守りハンドブック 2011〉

新生活スタート くらしに潜む危険 etc. - 取扱説明書を読んで安全・快適ライフを-

くらしの危険 NO. 306 家庭用電動工具の使い方に注意

くらしの危険 NO. 308 家庭用健康器具でけが

くらしの危険 NO. 311 電気ケトルによる乳幼児の熱傷

くらしの危険 NO. 313 歯みがき中の乳幼児の事故

くらしの危険 NO. 314 スライサーによるけが

0 くらしの危険 NO. 318 花粉防御用眼鏡による子どものけがにご注意

くらしの危険 NO. 320 カラーコンタクトレンズの安全性

くらしの危険 NO. 322 気をつけて、浴槽での首掛け式浮き輪の事故！！

くらしの危険 NO. 323 ボタン電池を使用した商品に注意

くらしの危険 NO. 324 食品加熱時の突沸に注意

くらしの危険 NO. 325 洗濯用パック型液体洗剤に気を付けて！

～インターネット情報～

・消費者庁ホームページ <http://www.caa.go.jp/>

消費活動（消費者安全・食品表示・表示対策・取引対策・消費者制度など）に関する情報提供サイトです。製品の回収・無償修理等リコール情報サイトや製品事故情報データベースなどの情報もあります。

・国民生活センターホームページ <http://www.kokusen.go.jp/>

消費生活・消費者問題に関する事例や対処法を紹介しているサイトです。商品テストの結果やリコールなどの情報提供がされています。消費者被害やトラブル情報の相談窓口です。

・家電製品協会ホームページ <http://www.aeha.or.jp/>

家電製品を安全に使用するため「家電製品の正しい使い方」や「点検とお手入れ」などを映像で紹介しています。各社のリコール情報提供もされています。